



ボランティアだより

No. 197

発行部数 1,900部

発行日 2017年12月

(編集・発行) 社会福祉法人広島市安芸区社会福祉協議会 ボランティアセンター
広島市安芸区船越南三丁目2-16 安芸区総合福祉センター3階
(TEL) 821-2503 (FAX) 821-2504
(Eメール) aki@shakyohiroshima-city.or.jp

美味しく食べて、いきいき運動、元気に楽しく参りましょう(^o^)

第2回安芸区ボランティア研修会

開催日時：平成30年1月30日(火)10:00～12:00

会場：安芸区総合福祉センター 3階大会議室

内容：「健康にボランティア活動をする為に
～食事療法・生活習慣病予防(運動)～」

- ①食事療法 45分
- ②生活習慣病予防(運動) 45分
- ③質疑応答



講師：県立広島病院 地域連携センター
①管理栄養士 渡辺 多栄 氏
②理学療法士 上満 亮太 氏

対象：安芸区ボランティアセンターにボランティア登録を
されている個人、団体。
安芸地区在住でボランティア活動に興味関心のある方

申し込み：各グループでとりまとめ、安芸区社協へ電話かFAXで。
個人の参加の方は、直接申し込み。

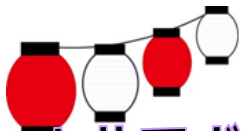
締切り：平成30年1月19日(金)

定員：80名

参加費：無料

持参物：動きやすい服装・水分補給できるもの





安芸区ボランティアまつり、みんなで協力して大盛況でした！

おかげさまで、安芸区ボランティアまつりを無事終了することができました。

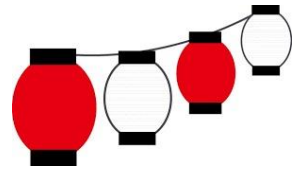
安芸区のボランティアグループやまつりのお手伝いをしてくださった広島国際学院大学・安田女子大学、「H29ヤングボランティアスクール」受講生のみなさまのご協力のおかげです。ありがとうございました。

今年も晴天に恵まれ、ボランティアまつりの来場者は705名と前年度と変わらずたくさんの方が来場されました。

今後も安芸区ボランティアグループ連絡会と安芸区社協が力を合わせ、まつりをより良いものにしていきたいと思っていますので、ご協力よろしくおねがいします。

コーナー紹介

キッズコーナー (H29 あきくヤングボランティアスクール受講生)



▲ポケネット・輪投げ

▼ヤンボラ受講生

H29 あきくヤングボランティアスクール受講生より

- ・多くの子ども達と関わって楽しかった。参加賞の下駄ストラップと、どんぐり駒をあげると喜んでくれ、こちらも嬉しくなった。
- ・子どもに「やった！おめでとう」と声掛けすると笑ってくれて嬉しかった。
- ・ヤンボラのみんなでコーナーの飾りつけを華やかにできて楽しかった。

ブラックライト紙芝居 (安芸朗読会)



紙芝居演目

- ・七色の雪
- ・アラジンと魔法のランプ
- ・オオカミクン
- ・はだかの王さま
- ・いたずらキツネ
- ・どろぼう学校

安芸朗読会より

- ・「大人も子供も楽しめた」と感想をもらい嬉しかった。
- ・観客が絶えることなく上映できて良かった。
- ・父子や母子で話しながら見てくださっているのもうれしかった。
- ・興味を持って舞台裏をのぞきに來たり、質問をしてくれる子供もいて嬉しかった。



安芸区ボランティア大学～認知症編～を行いました

「認知症って知っていたら・・・本人も家族も地域が居場所」と題し、認知症の方との接し方や地域でできることなどを学ぶことを目標に開催しました。そこで、受講したメンバーの希望者で認知症 Café を立ち上げたいねと話しました。直接認知症 Café に携わることは難しくても、今回認知症について学んだことを、地域で気がかりな人へのかかわりに活かしていただきたいです。

なお認知症 Café を作りませんか？と題し、認知症編続編を1月12日(金)10時～12時に行います。関心のある方、話を聞いてみようと思う方は、安芸区社協までお問い合わせください。



11月17日(金)

地域密着型特別養護老人ホーム「花みずき」施設長の山根 喜代治さんを講師にお招きして、知っているようで知らない認知症の基本的な知識について学びました。

12月1日(金)

認知症の方との接し方のポイントについて、1回目に引き続き、山根さんよりお話いただきました。また、認知症の人を支える地域の力について、講師に「リエゾン地域福祉研究所」の丸山法子さんにお話しいただき、グループに分かれ参加者が現在そして今後あったらいいと思う支援や社会資源を模造紙に自由に書き出しました。



12月15日(金)

最終日、山根さんから認知症高齢者の心理を知ると題して、認知症の理解についてさらに深くお話いただきました。続いて、丸山さんは前回のワークをもとに、徘徊 SOS ネットワーク・認知症見守りボランティア・認知症の人と家族の会の活動・認知症声かけ見守り支援連携・認知症 Café といった認知症の方を支える取り組みがあると紹介され、多くの受講生は見守り活動や認知所 Café の支援への意欲が高まったようでした。



聴こえない方へお手伝いできることって何？

やさしさ発見プログラムを実施しました

聴覚障がい者理解学習(要約筆記体験)

12月1日(金)10:00~12:15

矢野西小学校4年生が、要約筆記サークルおりづる安芸支部による要約筆記体験指導を受けました。

はじめに、聴覚障がい者が代金引換の配達物を受けとり上手く対応できず困っている寸劇を見て、聴覚障がい者の講師である川口富枝さんが「60歳の時、突発性難聴になったことがきっかけで聴こえなくなり、会社や職場の人に迷惑をかけているのではないかとみじめな気持ちになった」話をされました。生徒さんは聴こえない方のつらい気持ちを知ることができたようです。

続いて要約筆記についてとノートテーク(書いて伝える)の学習をすることで、聴こえない方のお手伝いができることを学びました。

やさしさ発見プログラムを通して、障がいのある方に、やさしく接することができる人が増えることを願います。

やさしさ発見プログラム事業って何？

子どもから大人までを対象とした、一人ひとりの「生きる力」や「福祉のこころ」を育む生涯学習として実施しています。

- ①高齢者の理解
- ②認知症の理解
- ③車いすユーザーへの理解
- ④視覚障がい者への理解
- ⑤聴覚障がい者への理解
- ⑥知的障がい者への理解

<連絡先>

小・中学校関係者の方、地区社協の方は
→安芸区社会福祉協議会へ



難聴者の方からひとこと

「子どもたちが聴こえにくい人へ書けばきちんと話が伝えられるということを理解し、家族にも話して障害者理解のきっかけになると嬉しいです。」



▲要約筆記についての説明



▲川口 富枝さん



▲寸劇

安心して活動を行うために、是非ともご加入ください

ボランティア活動保険

平成30年度の加入手続きをお願いします。

時間が経つのは早いもので、保険の更新時期になりました。

平成29年度にご加入いただいたボランティア活動保険は、3月末日で補償期間が切れます。

来年2月頃新しい申込用紙が届くので、手続きをお願いします。

※ボランティア活動保険は、活動中の事故はもちろんのこと、往復路での事故も保険の対象となります。補償内容については加入と同時に届くパンフレットに記載してありますのでご参照ください。



○ボランティア活動保険料

<基本タイプ>

Aプラン 350円

Bプラン 510円

補償期間：H30.4.1~H31.3.31